

「下水道マニア」が国土交通大臣賞を受賞しました

この度、キャリア教育を意識した夏季連携講座「下水道マニア」が、「平成28年度（第9回）国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」（広報・教育部門）を受賞しました。

1. 国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）とは

「国土交通大臣賞（循環のみち下水道賞）」は、健全な水循環、資源・エネルギー循環を生み出す21世紀の下水道のコンセプト「循環のみち下水道」に基づく優れた取組みに対し、平成20年度に創設された国土交通大臣表彰です。社会経済情勢の変化に対応し、多様な面から社会に貢献した優れた事例を表彰し広く発信することで、受賞者の功績を称えとともに、他の多くの団体等でも同じ取組みが行われ、全国的に「循環のみち下水道」が実現することを目指しています。

今年度は、本市の事例を含め10事例が受賞しました。

表一受賞団体一覧

部門	受賞団体	件名
グランプリ	大阪府堺市	熱源、水源、地域資源に下水再生水をフル活用
イノベーション	神奈川県横浜市	パワートレインチームによる国際貢献活動
	新潟県新潟市	下水熱を利用した歩道融雪
レジリエント	大阪府	下水道と河川の一体的整備による浸水対策効果の発現
	熊本県熊本市	熊本地震におけるマンホールトイレの活用
アセット マネジメント	ポリエチレンライニング工法協会	リサイクル可能な材料を用いた管更生技術
	公益財団法人長野県下水道公社	下水道公社を活用した下水道事業の広域化・共同化
広報・教育	神奈川県立大師高等学校 神奈川県川崎市 下水道広報プラットフォーム 管路情報活用有限責任事業組合 メタウォーター株式会社	キャリア教育を意識した夏季連携講座「下水道マニア」
	三重県伊勢市	お伊勢さんの美しい水環境の創出
	「下水道のひみつ」製作チーム	学研漫画「下水道のひみつ」の製作・発刊

2. キャリア教育を意識した夏季連携講座「下水道マニア」について

全国でも例を見ない、キャリア教育を意識した下水道に関する4日間連続講座を、平成27年8月4日から7日まで、高校生を対象に行いました。4日間下水道漬けとなることで下水道のマニアとなり、普段経験できない施設見学や職場体験などの実体験をとおして、下水道の重要性や魅力を発信しました。これらにより環境やキャリアを考えるきっかけとし、環境への意識向上や、生徒の進路選択の視野を広げることに貢献することを目的としました。

3. 表彰の日時

日時 平成28年9月9日（金） 13：00～14：55

場所 国土交通省（合同庁舎3号館）10階共用会議室A（東京都千代田区霞が関2-1-3）

4. その他

国土交通大臣賞については、下記の国土交通省ホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html>



中列正面右から3番目が金子上下水道事業管理者
前列正面右から5番目が石井国土交通大臣



(問合せ先) 川崎市上下水道局下水道計画課
電話044-200-2884

広報・教育部門

キャリア教育を意識した夏季連携講座※「下水道マニア」

神奈川県立大師高等学校、川崎市、下水道広報プラットフォーム、管路情報活用有限責任事業組合、メタウォーター株式会社



【講義の様子】

身近な内容から専門的な内容まで幅広く講義し、生徒は真剣な眼差しで聞き入っていました。



【大型ポンプ試運転】

普段見られない施設の見学や体験では、「お〜」「すごい」と何度も驚きの声が上がりました。



【ディスカッション】

テーマ「見えない下水道を市民にどう伝えるか」様々なアイデアに驚かされました。

4日間下水道漬けの講座内容

日時	講座内容
平成27年	午前 ○授業「マンホール蓋の魅力」
8月4日	午後 ○県立大師高校から多摩川までマンホールを観察 ○多摩川で河川の水の採水・生物観察
	午前 ○授業「下水道って何？」
8月5日	午後 ○テレビカメラを用いた下水道管内の調査
	午前 ○流した学校の下水を歩いて追いかける ○観音川雨水滞水池・観音川ポンプ場での試運転体験
8月6日	午後 ○入江崎水処理センターの施設見学 ○微生物の観察、簡易水質試験による水質試験体験
	午前 午後 ○3班に分かれてグループディスカッション・発表 テーマ「見えない下水道を市民にどう伝えるか」

PRポイント!

全国でも例を見ない、**高校生を対象としてキャリア教育を意識した下水道に関する4日間連続講座**を行いました。毎日下水道漬けでしたが、**生徒たちは笑顔や驚きを見せながら、楽しく受講**していました。**親しみやすい講座の構成や飽きない工夫をしたことが成功のポイント**と思います。

【成果】・4日間下水道漬けで、生徒たちは下水道マニアになりました。

- ・施設見学や職場体験などの実体験をとおして、下水道の重要性や魅力が発信できました。
- ・環境教育、キャリア教育を意識した下水道漬けの講座により、環境への意識向上や、進路選択の視野を広げることに貢献ができました。

Key Person



神奈川県立大師高等学校
(現 舞岡高等学校) 教諭
松井 浩気

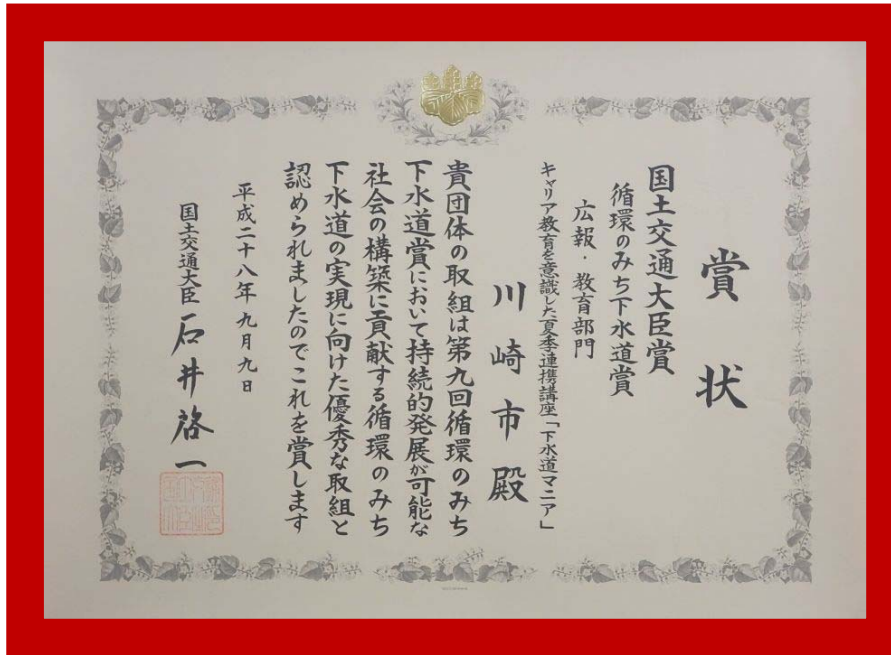
下水道を核とした環境教育として、講座発案を行いました。川崎市をはじめ多くの専門家の方々にキャリア教育の側面も取り入れて、関係者全員が高校生に分かり易く、目標達成が進むよう、沢山の案が出ては精選し質の高い講座となりました。

現在、神奈川県では、県立高校改革実施計画が示され(H28.1月)学習機会拡大として、県立高校生学習活動コンソーシアムの形成が重点目標に示されました。

学校の外に、教育機会と力を求め高い目標の達成が図れ、関係者間の信頼関係が築けたこと、教育に真剣にあたっていただいたことが成功の大きな要因であり、評価を頂いた点と思っています。始まったばかりの講座です。講座の継続と今後の受講生の増加などを通して、下水道の歴史と技術の素晴らしさを知る人々が増えていくこと、受講生が未来のキーストーンとなっていくことを期待しています。

※「夏季連携講座」とは、神奈川県の総合学科を有する高等学校の生徒を対象に、広く専門的な学びの場を提供することを目的として行う講座です。

平成28年度国土交通大臣賞「循環のみち下水道賞
(広報・教育部門)」を受賞しました!



中列正面右から3番目が金子上下水道事業管理者、前列正面右から5番目が石井国土交通大臣

石井国土交通大臣より、
金子上下水道事業管理者に
表彰状が授与されました。

